核データニュース編集小委員会報告

■核データニュース編集小委員会

合川正幸（北海道大学）、岩本修（原子力機構）、大塚直彦（IAEA）、金政浩（九大）、小浦寛之（原子力機構）、中村詔司（原子力機構）、丸山修平（原子力機構）、山野直樹（放射線線量解析ネットワーク）

（敬称略、順不同）

■核データニュース発行報告

発行：下記のとおり発行いたしました。執筆者の皆様、ご協力ありがとうございました。

第-139 号（通巻第 175 号）2024 年 10 月公開

- 第 36 回 NEA 核データ評価国際協力ワーキングパーティ（WPEC）会合報告　岩本修ほか
- 「2024 年秋の年会」企画セッション「将来の核データ —次世代 JENDL に向けて—」
  - 核分裂核データ評価手法の高度化　奥村森
  - ミュオン核データ　新倉潤
  - 原子炉許認可のための核データ　山本弘明
  - 医療用同位体生成と放射線治療線量評価　石塚千香子
- ISTC/SAC 議長が行くーカザフスタン編(その２)　深堀智生

第 140 号（通巻第 176 号）2025 年 2 月公開

- 核反応の時間発展ダイナミクスの解明に向けて　湊太志
- 核構造・崩壊データ評価者ネットワーク会議　飯村秀紀
- EXFOR ワークショップ　須山賢也
- Fission Experiments and Theoretical Advances (FIESTA 2024) 参加報告　藤尾和樹
- 核データの検索・公開・データポータルに関する IAEA 技術会合に参加して　多田健一ほか
- 中性子放射化分析による中性子捕獲断面積の高精度測定手法の開発　中村詔司
- 統計模型計算コード COH3　河野俊彦
- ISTC/SAC 議長が行くーウクライナ編ー　深堀智生

予告：下記の記事の掲載を予定しています。核データニュースを通して部会を盛り上げていくために、自薦・他薦問わず積極的な記事提案をお願いします。

第-141 号（通巻第 177 号）2025 年 6 月公開予定（題名はいずれも仮題）

- 「2024 年春の年会」企画セッション「三体核力研究と核データ応用への期待」
  - 三体核力　関口仁子
  - 密度汎関数理論を用いた核子多体系の記述　中務孝
  - 核子多体系の原子核構造・反応計算の確立　肥山詠美子
  - 三体核力の医学応用への期待　小川美香子
- 新博士誕生　渡辺/証斗
- ISTC/SAC 議長が行くージョージア編ー　深堀智生

■核データニュース No.96 以降の著作権について

核データニュースのホームページには

「ＪＮＤＣニュース」と「核データニュース」No.1～No.95 の著作権は 日本原子力研究開発機構核データ研究グループ にあります。「核データニュース」No.96 以降は日本原子力学会核データ部会が著作権を保有しています。

という著作権表示があります。このうち核データ部会刊行分(No.96 以降)について、編集委員会では著作権移

譲に関する通知などは特に執筆者の方々にしてきませんでしたので、この表示は現状では正しくありません。他方、以上のような表示があるため、転載に関する問い合わせが編集委員会宛てに届く事例がありました。転載可否を編集委員会で判断できるようにするため、また、将来、個々の記事に DOI を付与する可能性などを考え、No.96 以降の記事の著作権の部会への移譲を一括実施することを提案します。本来であれば執筆者個々に打診すべきところですが、以下を次号の「お知らせ」にて通知することを提案いたします：

- No.96 以降の著作について著作権の部会への譲渡をお願いする。
- 2026 年 3 月末日までに特に通知がなかった場合は著作権移譲に同意したものとみなす。
- この期限までに「お知らせ」に気づかれなかった方が譲渡に同意されない場合は改めて個別にご相談する。

なお JST による J-Stage での電子アーカイブ化に際して各種学会誌等が同様の公告を出していることを申し添えます。

（以上）